

納付金(前期高齢者納付金)は減少。 しかし保険給付費は増加し 経常収支で赤字の決算に

令和4年度の事業報告および収支決算報告が、7月6日に開催された第82回組合会において承認されました。

健保組合の全国組織である健康保険組合連合会(健保連)が発表した「令和5年度健康保険組合予算編成状況―早期集計結果(概要)―」によると、健保組合全体の8割が赤字の予算を編成しているとのこと。高齢者等の医療を支えるための拠出金(納付金)は、4年度の1時的な減少の反動から7・3%(+2523億円)の増加。とくに後期高齢者支援金が9・9%(+1967億円)と急増とのこと。

全国の健保組合は、高齢者医療を支えるために多額の納付金を拠出して制度を支えています。しかし、その負担があまりにも重いため、多くの健保組合が厳しい財政状況に追い込まれており、社会保障制度の持続可能性が揺らいでいます。

国ではこの状況を踏まえ、現世代の負担に過度に依拠する現在の仕組みを是正し、年齢にかかわらず全国民が負担能力に応じて公平に支え合う「全世代型社会保障」の構築をめざして、制度改革を進めています。5月には、こども・子育て支援の拡充や、後期高齢者医療における後期高齢者負担率の見直しなどを内容とする医療保険制度改革関連法*が成立しました。今回の法改正は改革の第一歩であり、生産年齢人口の減少が見込まれる2040年に向けて、さらなる抜本的な改革が求められています。
*全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律

健康保険(一般勘定)

当健保組合の令和4年度決算状況につきましては、経常収支で赤字となりました。

収入面では、健康保険収入は前年度より27万9千円少ない2億2606万5千円でした。平均標準報酬月額と総標準賞与額が増えた一方で被保険者の減少などにより、結果として少額の減少となりました。また、支出に対して不足する収入額を補うために、積立金を取り崩して繰り入れました。

一方、支出面については、皆さんの医療費や一時金などに充てられる保険給付費は、前年度より2381万3千円多い1億4215万4千円でした。

高齢者医療制度を支える財源として負担している納付金は、前年度より2116万6千円少ない5187万4千円でした。後期高齢者支援金は前年度並みでしたが前期高齢者納付金が大幅に減少しました。

保健事業費には1466万1千円を執行して、特定健診・特定保健指導などを実施しました。

以上の結果、令和4年度決算も経常収支で赤字となりました。

健保組合は、被保険者の皆さんと会社が出し合って運営しています。大切な健保組合を維持していくために、健康的な生活習慣を心がけるなど、引き続き皆さんのご協力をお願い申し上げます。

介護保険(介護勘定)

介護勘定の収入支出決算は、収入2877万9千円、支出2707万4千円、差引額は170万5千円でした。

令和4年度

収入支出の決算概要

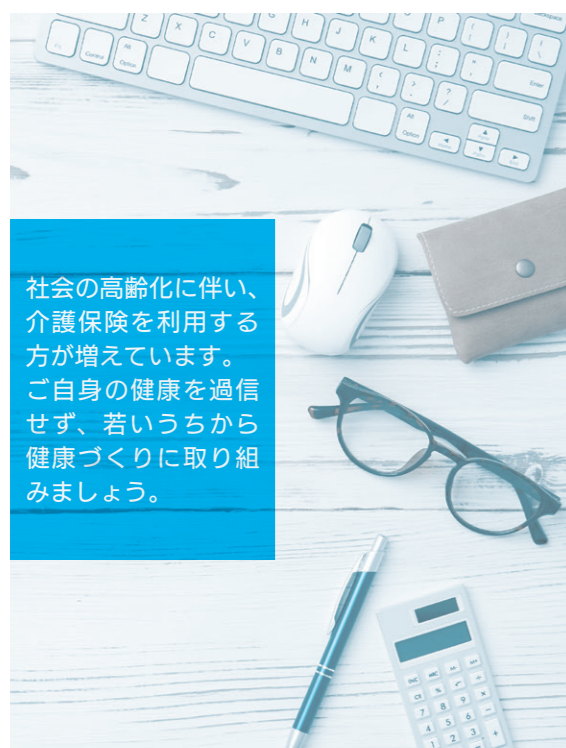
介護勘定

●収入

科目	決算額
介護保険収入	2,877万4千円
雑収入	5千円
収入合計	2,877万9千円

●支出

科目	決算額
介護納付金	2,707万4千円
支出合計	2,707万4千円



社会の高齢化に伴い、介護保険を利用する方が増えています。ご自身の健康を過信せず、若いうちから健康づくりに取り組みましょう。

一般勘定

●収入

科目	決算額
健康保険収入	2億2,606万5千円
調整保険料収入	323万9千円
繰入金	500万円
国庫補助金収入	6万3千円
財政調整事業交付金	1,282万6千円
雑収入	573万6千円
合計	2億5,292万9千円
経常収入合計	2億3,109万円

●支出

科目	決算額
事務費	3,469万5千円
保険給付費	1億4,215万4千円
法定給付費	1億4,200万2千円
付加給付費	15万2千円
納付金	5,187万4千円
前期高齢者納付金	3千円
後期高齢者支援金	5,186万9千円
退職者給付拠出金	2千円
保健事業費	1,466万1千円
財政調整事業拠出金	323万6千円
連合会費	25万8千円
積立金	102万円
雑支出	8万円
合計	2億4,797万8千円
経常支出合計	2億4,474万円

収支差引額	495万1千円
経常収支差引額	△1,365万円

令和4年度決算 収支の割合

収入

健康保険収入 89.3%

国庫補助金収入・財政調整事業交付金・雑収入 7.4%

繰入金 2.0%

調整保険料収入 1.3%

支出

事務費 14.0%

保険給付費 57.3%

 法定給付費 57.3%

 付加給付費 0.1%

連合会費・その他 0.5%

財政調整事業拠出金 1.3%

保健事業費 5.9%

納付金 20.9%

 前期高齢者納付金 -%

 後期高齢者支援金 20.9%

 退職者給付拠出金 -%

※端数処理の影響で支出合計は100%になりません。

ここ数年、医療費は増加傾向にあります。
元気に毎日を過ごすために、
できることから健康づくりを始めましょう

